

# 経営戦略の28年度取組実績について

## ○水道事業

### 1 数値目標

項 目		3年間(28年度~30年度)での目標	28年度実績	進捗状況等	
経営指標等	経常収支比率	毎年度100%以上	111.08%	目標達成	
	給水原価	毎年度69円/m <sup>3</sup> 以下	61.79円/m <sup>3</sup>	目標達成	
安定供給の確保	地震防災対策	広域調整池の整備(H28~37 5池整備)	20%	20%	37年度までの目標5池に対し、1池を整備した。(計画どおり)
		連絡管等の整備(H28~37 3路線整備)	0%	0%	37年度までの目標3路線に対し、3路線を整備中。(計画どおり)
		浄水場等の構造物の整備(H28~37 9浄水場整備)	0%	0%	37年度までの目標9浄水場に対し、5浄水場を整備中。(計画どおり)
	老朽化設備更新の進捗率(H28~30 15設備整備)	100%	13%	30年度までの目標15設備に対し、2設備を整備した。(概ね計画どおり)	
	老朽化管路更新の進捗率(H28~33 44km整備)	12%	3%	33年度までの目標44kmに対し、1.2kmを整備した。(概ね計画どおり)	
安全で良質な水の供給	水質指標(残留塩素)	毎年度1.5倍以下	1.5倍	目標達成	
	水質指標(PI)(特定4項目)	毎年度4項目達成	2項目達成	水質基準に適合しているものの、水質基準値より厳しく設定した独自の目標値を一時期、満たさなかった。	

### 2 経営指標

項 目		28年度実績	項 目		28年度実績
経営の健全性	経常収支比率【単年度損益】	111.08%	経営の効率性	施設利用率【施設の効率性】	64.88%
	累積欠損金比率【累積損失】	—		有収率【供給した配水量の効率性】	99.67%
	流動比率【キャッシュフロー】	94.18%	老朽化の状況	有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】	59.01%
	企業債残高対給水収益比率【債務残高】	241.32%		管路経年化率【管路の経年化の状況】	41.35%
経営の効率性	料金回収率【料金水準の適切性】	111.44%	管路更新率【管路の更新投資の実施状況】	0.08%	
	給水原価【費用の効率性】	61.79円/m <sup>3</sup>			

### 3 28年度の主な取組実績及び今後の取組

#### 【主な取組実績】

- ・地震対策(広域調整池、連絡管、基幹管路等)の実施
- ・老朽化施設更新(浄水場設備、管路)の実施
- ・安全で良質な水の供給
- ・水道技術職員の人材育成
- ・尾張地域の2浄水場のPFI事業の契約(犬山浄水場への太陽光発電設備の整備)

#### 【今後の取組】

- ・地震対策(広域調整池、連絡管、基幹管路等)の実施
- ・老朽化施設更新(浄水場設備、管路)の実施
- ・安全で良質な水の供給
- ・PFI事業の着実な実施
- ・水道技術職員の人材育成
- ・環境に配慮した事業の実施

## ○工業用水道事業

### 1 数値目標

項 目		3年間(28年度~30年度)での目標	28年度実績	進捗状況等	
経営指標等	経常収支比率	毎年度100%以上	118.59%	目標達成	
	給水原価	毎年度28円/m <sup>3</sup> 以下	24.94円/m <sup>3</sup>	目標達成	
安定供給の確保	地震防災対策	愛知用水(H28~36 8橋整備)	50%	25%	36年度までの目標8橋に対し、2橋を整備した。(計画どおり)
		西三河(H28~37 12橋整備)	67%	33%	37年度までの目標12橋に対し、4橋を整備した。(計画どおり)
		東三河(H28~29 5橋整備)	100%	60%	29年度までの目標5橋に対し、3橋を整備した。(計画どおり)
		尾張(H28~34 10橋整備)	80%	40%	34年度までの目標10橋に対し、4橋を整備した。(計画どおり)
		愛知用水(H28~31 4施設整備)	50%	25%	31年度までの目標4施設に対し、1施設を整備した。(計画どおり)
	老朽化施設更新	西三河(H28~34 7路線整備)	43%	0%	34年度までの目標7路線に対し、6路線を整備中。(計画どおり)
		東三河(H28~29 2施設整備)	100%	50%	29年度までの目標2施設に対し、1施設を整備した。(計画どおり)
		尾張(H28~29 10施設整備)	100%	50%	29年度までの目標10施設に対し、5施設を整備した。(計画どおり)
		愛知用水(H28~37 8路線整備)	0%	0%	37年度までの目標8路線に対し、1路線を整備中。(計画どおり)
	老朽管路更新	西三河(H36以降整備予定)			
		東三河(H31以降整備予定)			
		尾張(H36以降整備予定)			

## 2 経営指標

項目		28年度実績	項目		28年度実績
経営の健全性	経常収支比率 【単年度損益】	118.59%	経営の効率性	施設利用率 【施設の効率性】	56.74%
	累積欠損金比率 【累積損失】	—		有収率 【供給した配水量の効率性】	98.45%
	流動比率 【キャッシュフロー】	117.40%	老朽化の状況	有形固定資産減価償却率 【施設全体の減価償却の状況】	65.42%
	企業債残高対給水収益比率 【債務残高】	285.28%		管路経年化率 【管路の経年化の状況】	19.52%
経営の効率性	料金回収率 【料金水準の適切性】	116.40%	管路更新率 【管路の更新投資の実施状況】	0.14%	
	給水原価 【費用の効率性】	24.94円/㎡			

## 3 28年度の主な取組実績及び今後の取組

### 【主な取組実績】

- ・地震対策（水管橋）の実施
- ・老朽化施設更新（浄水場設備、管路）の実施
- ・西三河工業用水道事業の需要対応の検討
- ・尾張地域PFI事業の契約
- ・水道技術職員の人材育成

### 【今後の取組】

- ・地震対策（水管橋）の実施
- ・老朽化施設更新（浄水場設備、管路）の実施
- ・西三河工業用水道事業の需要対応の検討
- ・PFI事業の着実な実施
- ・水道技術職員の人材育成
- ・環境に配慮した事業の実施

## ○用地造成事業

### 1 数値目標の実績

項目		10年間（28年度～37年度）での目標		28年度までの実績 ※経営指標は28年度実績	進捗状況等
経営指標	経常収支比率	毎年度 100%以上		110.12%	目標達成
分譲、リース面積	内陸用地	28年度～32年度 700ha	33年度～37年度 100ha	4.4ha	新城南部地区において用地を分譲。（概ね計画どおり）
		28年度～32年度 30ha	33年度～37年度 30ha		
造成完了面積	内陸地区	28年度～32年度 750ha	33年度～37年度 160ha	0ha	豊田・岡崎地区始め3地区において用地を造成工事中。（概ね計画どおり）
		28年度～32年度 60ha	33年度～37年度 40ha		

## 2 経営指標

項目		28年度実績
経営の健全性	経常収支比率 【単年度損益】	110.12%
	流動比率 【キャッシュフロー】	192.89%

## 3 28年度の主な取組実績及び今後の取組

### 【主な取組実績】

- ・中部臨空都市において、ニーズが高まっている商業用途の区画を新規に分譲開始
- ・高浜豊田地区の着工
- ・稲沢三宅（第二期事業）地区の開発決定
- ・豊田・岡崎地区において環境への影響を考慮した事業の推進

### 【今後の取組】

- ・愛西佐織地区及び高浜豊田地区の先行契約方式による分譲開始
- ・中部臨空都市において、商業施設や国際展示場関連施設の誘致活動や、イオンモール(株)との相乗効果が期待できる周辺区画への誘致活動の実施
- ・次世代産業関連企業、航空宇宙産業を中心とした企業訪問の実施
- ・企業ニーズを把握し、採算性の精度を高めた新規開発の実施
- ・事業量に応じた適正な組織体制の構築